

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：警察費 項：警察活動費 目：刑事警察費

事業名【新】防犯カメラ映像等変換解析装置整備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

警察本部 刑事部 分析戦略課 電話番号：058-271-2424(内4911)

E-mail：c18873@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 25,234 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	25,234	0	0	0	0	0	0	0	25,234
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

重要事件等の発生時、現場周辺の防犯カメラ映像を収集・解析し、客観証拠を獲得することは極めて重要な捜査項目であるが、防犯カメラの普及により、収集映像が増加し解析対象が激増している。

(2) 事業内容

解析結果の早期獲得を実現し迅速な事件解決のため、映像変換解析ソフトを更新及び新規整備する。

本解析ソフトは、映像解析処理が4倍速処理となり処理能力が向上しているほか、サポートパックによる年1回以上の機能改善アップデートを行うことにより、常に最新の状態を維持できるため、ソフトが陳腐化することなく長期にわたり有効な活用が期待できる。

また、対応する映像ファイルが80種以上と多いだけでなく、映像ファイルの形式変換機能を実装しているため、これまでのような「映像の読み込み不可」を回避し、円滑な解析処理を実施することができる。

(3) 県負担・補助率の考え方

県内で発生した事件捜査に使用するソフトウェアであることから、県負担が妥当である。

(4) 類似事業の有無

無し。

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
備品購入費	25,234	映像変換解析ソフト
合計	25,234	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略
Ⅱ-2-(2)-⑤ 犯罪・交通事故防止の推進

(2) 国・他県の状況

令和6年度末時点で、全国36都道府県で合計596ライセンスを導入し運用している。
令和7年度において、新たに5府県が導入を進めている。

(3) 後年度の財政負担

映像変換解析ソフトを機能劣化せず、最新の状態で利用を可能とするため、5年毎にサポートパックを更新する。

(単位:千円)

年 度	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	計
予算額	-	-	-	-	17,903	-	-	-	17,903

(4) 事業主体及びその妥当性

全国での導入状況からも、操作性、信頼性を認められた評価の高いソフトウェアと判断でき、導入ソフトとして選定することは妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

令和2年度に導入した映像解析ソフトは、機能の陳腐化が激しく処理能力が不足しており、迅速な解析結果の得られないことから、全国的に評価が高く導入が進んでいる最新の映像解析ソフトを整備する。

このことにより、迅速な映像解析が実現し、捜査への速やかな提供により、早期の事件解決を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

犯罪捜査の過程で必要な捜査項目であり、目標設定することは困難である。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<div></div> <p>指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %</p>
令和5年度	<div></div> <p>指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %</p>
令和6年度	<div></div> <p>指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 本解析ソフトの機能を最大限有効に活用し、早期の事件解決を図るため、各捜査員の解析技能の向上、習熟を図るため、指導教養を推進する必要がある。

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 早期の事件解決を実現し、県民の安全・安心を確保するために必要な事業であることから、整備するソフトウェアの効果的かつ効率的な活用を推進する。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	